

4 介護保険施設の状況

(1) 定員、在所要者数、利用率

介護保険施設の種類ごとに1施設当たりの定員をみると、介護老人福祉施設が72.1人、介護老人保健施設が89.5人、介護療養型医療施設が44.4人、1施設当たりの在所要者数は、それぞれ70.5人、81.3人、41.1人となっており、利用率は3施設とも9割を超えている(表13)。

介護保険施設の種類ごとに在所要者数の構成割合を年次推移でみると、介護療養型医療施設は年々減少し、平成24年では8.5%となっている(表14)。

表13 1施設当たりの定員、在所要者数、利用率(詳細票)

平成24年10月1日現在

	1施設当たりの 定員(人)	1施設当たりの 在所要者数(人)	利用率(%) ²⁾
介護老人福祉施設	72.1	70.5	97.8
介護老人保健施設	89.5	81.3	90.8
介護療養型医療施設	44.4	41.1	92.6
(再掲) 診療所	8.9	6.6	74.9

注：1) 介護療養型医療施設における「定員」は介護指定病床数である。

2) 利用率は定員当たりの在所要者数の割合である。

表14 在所要者数(構成割合)の年次推移

(単位：%)

各年9月末現在

	平成24年 (2012) (詳細票)	平成23年 (2011)	平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	平成20年 (2008)
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
介護老人福祉施設	53.8	53.6	52.7	52.4	52.0
介護老人保健施設	37.8	37.3	37.6	37.1	36.5
介護療養型医療施設	8.5	9.1	9.8	10.5	11.6

(2) 室定員別室数の構成割合

介護保険施設の種類ごとに室定員別室数の構成割合をみると、介護老人福祉施設及び介護老人保健施設では「個室」がそれぞれ67.5%、43.9%と最も多く、介護療養型医療施設では「4人室」が50.8%と最も多くなっている(表15)。

表15 室定員別室数の構成割合

(単位：%)

各年10月1日現在

	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	平成24年 (2012) (詳細票)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012) (詳細票)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012) (詳細票)	平成23年 (2011)
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
個室	67.5	64.8	43.9	42.3	20.6	20.1
ユニット型	50.9	47.3	14.1	12.2	0.8	0.5
その他	16.6	17.5	29.8	30.2	19.8	19.6
2人室	9.5	10.2	12.6	13.1	18.5	18.1
ユニット型	0.1	0.1	0.0	0.0	-	-
その他	9.5	10.2	12.6	13.1	18.5	18.1
3人室	1.0	1.0	2.1	2.1	10.0	10.3
4人室	21.8	23.6	41.5	42.5	50.8	51.4
5人以上室	0.2	0.3	・	・	0.1	0.1

注：「ユニット型」とはユニットの中の居室(療養室)であり、「その他」とはユニット型以外の居室(療養室)である。

(3) 介護老人福祉施設におけるユニットケア（ユニット型及び一部ユニット型）の状況

介護老人福祉施設におけるユニットケアの状況をみると、ユニットケアを実施している施設は36.1%で、そのうち「ユニット型」が24.0%、「一部ユニット型」が12.0%となっており、平均ユニット数はそれぞれ7.4ユニット、3.3ユニットとなっている（表16）。

表 16 介護老人福祉施設におけるユニットケアの状況（詳細票）

平成24年10月1日現在

	総 数	ユニット型	一部ユニット型
ユニットケア実施施設数の割合（%）	36.1	24.0	12.0
ユニットケア実施施設の定員の割合（%）	29.2	23.8	5.3
平 均 ユ ニ ッ ト 数	6.1	7.4	3.3
1 ユ ニ ッ ト 当 た り の 定 員 （ 人 ）	9.8	9.8	9.7

注:1) 介護老人福祉施設におけるユニットとは、少数の居室及び当該居室に近接して設けられる共同生活室(当該居室の入居者が交流し、共同で日常生活を営むための場所をいう。)により、一体的に構成される場所をいう。
2) 平均ユニット数は、ユニットケアを実施する施設におけるユニット数の平均である。

(4) 介護老人保健施設におけるユニットケア（ユニット型及び一部ユニット型）の状況

介護老人保健施設におけるユニットケアの状況をみると、ユニットケアを実施している施設は10.1%で、そのうち「ユニット型」が5.0%、「一部ユニット型」が5.0%となっており、平均ユニット数はそれぞれ7.2ユニット、3.2ユニットとなっている（表17）。

表 17 介護老人保健施設におけるユニットケアの状況（詳細票）

平成24年10月1日現在

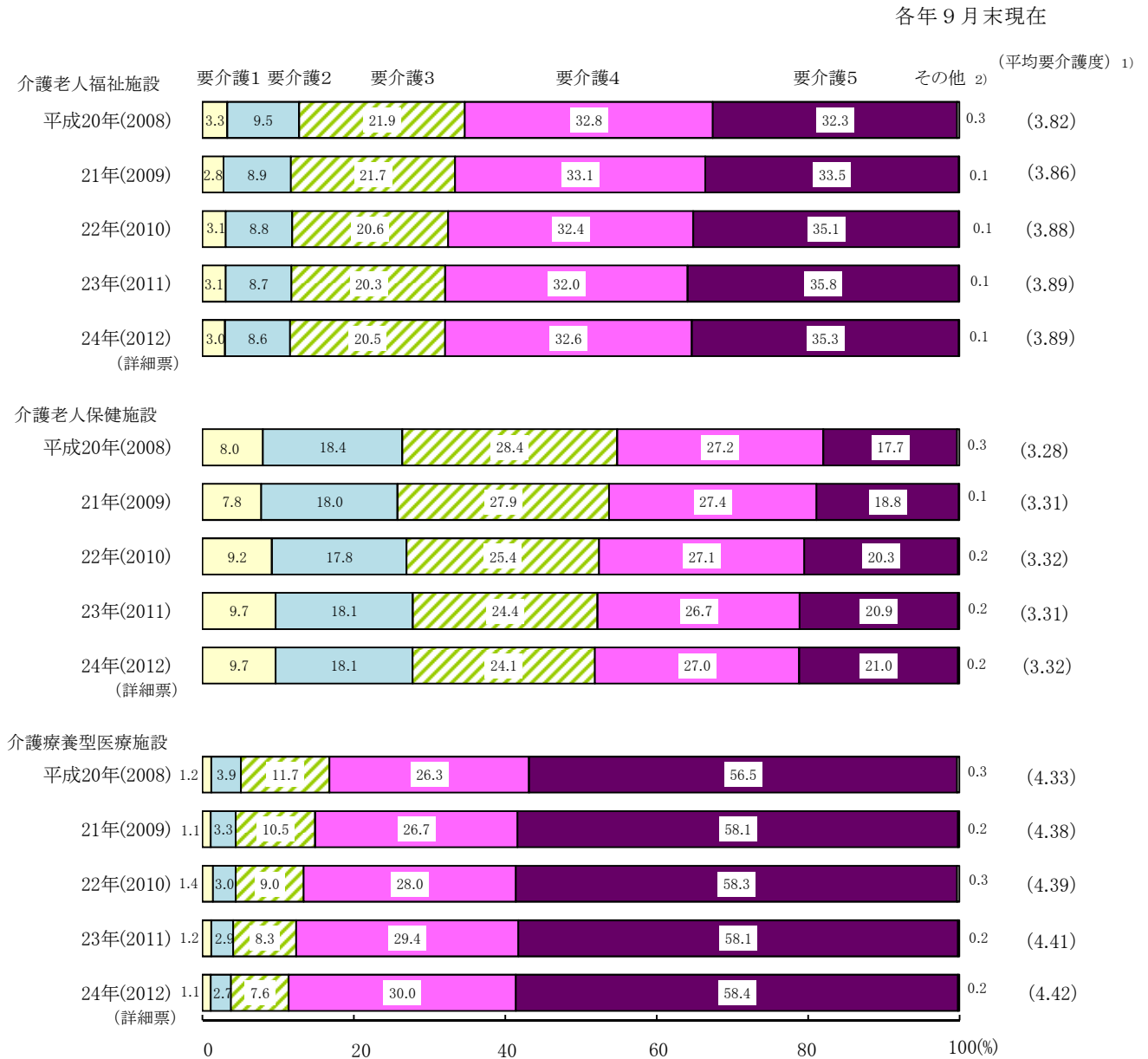
	総 数	ユニット型	一部ユニット型
ユニットケア実施施設数の割合（%）	10.1	5.0	5.0
ユニットケア実施施設の定員の割合（%）	5.9	4.0	1.8
平 均 ユ ニ ッ ト 数	5.2	7.2	3.2
1 ユ ニ ッ ト 当 た り の 定 員 （ 人 ）	10.0	10.0	10.0

注:1) 介護老人保健施設におけるユニットとは、少数の療養室及び当該療養室に近接して設けられる共同生活室(当該療養室の入居者が交流し、共同で日常生活を営むための場所をいう。)により、一体的に構成される場所をいう。
2) 平均ユニット数は、ユニットケアを実施する施設におけるユニット数の平均である。

(5) 要介護度別在所要者数の構成割合

介護保険施設の種類ごとに平成24年の要介護度別在所要者数の構成割合をみると、介護老人福祉施設では「要介護5」が35.3%、介護老人保健施設では「要介護4」が27.0%と最も多くなっている。介護療養型医療施設では「要介護5」が58.4%で最も多く、在所要者数の5割を超えている。また、介護保険施設の入所者の要介護度は重度化の傾向にある。(図7)

図7 要介護度別在所要者数(構成割合)の年次推移



注：1) 平均要介護度は以下の算式により計算した。

$$\text{平均要介護度} = \frac{\text{在所要者の要介護度の合計}}{\text{要介護1～5の在所要者数の合計}}$$

2) 「その他」は、要介護認定申請中の者である。